

第184回 防衛調達審議会議事要旨

1 日時

令和5年11月22日（水）10時00分～11時40分

2 場所

防衛省庁舎A棟11階第1省議室

3 出席者

(委員)

田内会長 柴山会長代理 石田委員 片岡委員 清水委員 西谷委員 林委員

(防衛省)

防衛装備庁 西脇長官官房審議官、坂本装備政策部長、森調達管理部長、久澤調達事業部長、渡野監察監査・評価官（事務局）

統幕首席後方補給官代理後方補給官（補給）、陸幕装備計画部長代理装備計画部装備計画課補給管理班長、伊藤海幕装備計画部長、小島空幕装備計画部長

4 議題

(1) 随意契約に係るサンプリング調査審議

(令和4年度 航空自衛隊第2補給処（十条支処）)

(2) 1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議及び仕様書等に係るサンプリング調査審議（令和4年度 航空自衛隊）

(3) 次回の日程等

5 議事概要

(1) 随意契約に係るサンプリング調査審議

(令和4年度 航空自衛隊第2補給処（十条支処）)

令和4年度に航空自衛隊第2補給処（十条支処）が締結した契約の中から、サンプリング調査審議の対象として委員が抽出した「NUT外329品目」について審議を行った。

(NUT外329品目の概要)

本契約はF3エンジンのエンジンオーバーホール時に必要な修理用子部品を取得する

ものである。F3エンジンを可動エンジンとするため必要であり、消耗品等の10%交換部品が多数含まれる。

【事前調査における論点等】

- ① 過去5か年分のIHIの経費率、同部品（金額上位5位まで）及び追加発注を含めた契約金額総額の推移と主な変動理由について説明されたい。また、その推移について官としてどのように妥当性を検証しているのかも合わせて説明されたい。
- ② 発注頻度及び発注数量、納期について、製造コスト及び在庫保管コスト等を踏まえて最適になるのかをどのような方法や考慮要素で検証しているのか説明されたい。また、オーバーホールの数量と発注部品数量の過去5か年分の推移を踏まえ安全在庫量と発注費と保管費との関係が最適になる関係について説明されたい。

【本審議】

（資料に基づき防衛省側から説明）

（NUT外329品目）

事前調査の論点①及び②について

委：製造工場において適宜作業手順書の見直しや作業エリアの最適化がなされ、工数低減が図られているのか、また生産効率が上がっているのかということをお官として引き続きチェックされたい。

委：当初の調達計画と実績がどのくらい乖離したのかということをおコスト面のみならず機会原価の観点を含めレビューをし、その結果をお次の計画に活かされたい。

防：承知した。

（2）1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議及び仕様書等に係るサンプリング調査審議（令和4年度 航空自衛隊）

【1者応札案件に係るサンプリング調査審議案件1件】

- ① 航空自衛隊クラウドシステム全体システム維持

【1者応募案件に係るサンプリング調査審議案件1件】

- ② COMPRESSOR DEHYDRATOR, ELECTRON

【仕様書等に係るサンプリング調査審議（複数者応札）案件1件】

- ③ HYDRO-MECHANICAL ASSEMBLY

【事前調査における論点等】

① 航空自衛隊クラウドシステム全体システム維持

- ・同サービスの開始当初からの契約金の推移を説明されたい。また、各年の生産性向上に伴う価格の低減が反映されているかについて説明されたい。もし低減がなされていない、または価格が増加している場合はその理由を説明されたい。
- ・改善策に「他社参入」が述べられているが、事業内容に照らし、他社参入が真に可能であるのか説明されたい。
- ・C3Iシステムズのような企業連合が契約相手方の場合、予定価格を算定する上で特段の注意や工夫はしているのか。また、本事業に必要な技能の代替可能性や参入可能性に関して本契約相手方の出資者以外の事業者の可能性をどのように調査、分析しているかを含め具体的に説明されたい。
- ・当該契約は、随意契約や複数年契約にする方が適切な調達になると思われるが、随意契約へ移行する検討や単年契約ではなく、複数年契約にする可能性について説明されたい。
- ・かなり重要なシステムの管理を外注（民間委託）していることになるが、セキュリティについてどのような工夫をしているのか、セキュリティ上安心できる契約相手方であるという確証があるのか説明されたい。

② COMPRESSOR DEHYDRATOR, ELECTRON

- ・当該部品を購入する理由、背景等について説明されたい。また、当該契約とは別に修理契約があるとのことだが、その修理契約を含め当該契約の位置づけを説明されたい。
- ・過去5か年分の同部品及び類似案件の数量と価格の推移について円建て、ドル建ての両方を示されたい。
- ・価格の中に販売代理店手数料（利益）がどのくらい含まれていると想定されているのか。ドル建ての価格の中に含まれているとすると、為替の影響により販売代理店の利益も膨らんでしまうが、価格の適正性をどのように担保、検証しているのか説明されたい。
- ・為替レートの変動の反映方法を説明されたい。
- ・価格の中に販売手数料がどのくらい含まれているのか不明の場合、原価計算方式で計算されている他の随意契約と不公平が生じると考えるがどのように対処されているのか説明されたい。
- ・1者しか販売代理店がない部品調達価格の適正性を確認するにあたり、限界や課題として考えられることがあれば説明されたい。

③ HYDRO-MECHANICAL ASSEMBLY

- ・過去5か年分の入札者、入札額、落札額、落札率について示されたい。
- ・予定価格の算定方法について説明されたい。
- ・今回の調達数量と納期の合理性を本製品の供給体制を踏まえて説明されたい。

【本審議】

(資料に基づき防衛省側から説明)

① 航空自衛隊クラウドシステム全体システム維持

委：不具合の発生事象が定型化してくれば、契約相手方が不具合対応について慣れてくるため工数低減がなされるのではないかと。

防：クラウド基盤については、付随する個別サービスが増えるにつれて、不具合件数も増えるため工数低減が図りにくい。一方、個別サービスは契約が継続している場合は、不具合件数が減少するため工数低減がなされている。

委：本件の企業連合体以外の競合会社へヒアリングを積極的に実施し、契約の透明性に努められたい。

防：承知した。

② COMPRESSOR DEHYDRATOR, ELECTRON

特段の意見なし。

③ HYDRO-MECHANICAL ASSEMBLY

委：海外製造メーカーの QUOTATION を市場価格として容認しているとのことだが、市場価格としての合理性を官としてどのように検証しているのか。

防：一般的に輸入調達は、品代の価格を担保するため、海外製造メーカーへ直接、価格の真贋性を問い合わせている。その他に中央調達の契約で金額が高いものを主として米国に駐在している職員が海外製造メーカーを直接訪問し、価格の計算方法について質問するなど価格の妥当性について検証している。

(3) 次回の日程等

次回は12月20日(水)の開催の予定。詳細については、事務局から後日連絡。